

令和7年7月11日

静岡市長 難波 喬司 様

自由民主党静岡市議会議員団
会 長 繁 田 和 三



第4次総合計画の見直しと議会への対応について(要請)

日頃は、市当局の皆様におかれましては市政発展のためにご尽力をいただき、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨日、静岡市議会6月定例会が閉会したところでありますが、難波市長は自由民主党静岡市議会議員団の代表質問において、第4次総合計画(以下4次総)の見直しをする旨、答弁されました。

当会派といたしましては、令和5年4月の静岡市長選挙において、難波喬司候補予定者との間で政策協定を締結し、その一つに「4次総の着実な推進」を掲げております。

今回の答弁等を含め、本市の危機的な人口減少状況を踏まえ、4次総を着実に推進するうえで政策の見直しが不可欠となれば、我が自民党をはじめとする市議会との議論を前提として、静岡市民が真に必要な4次総の見直しとなることを要請いたします。

4次総の見直しにあたっては、行政の一方的な見直し作業ではなく、市民目線を重視した政策・施策の構築を行うとともに、全ての市民が日常生活における幸せや満足度を共感し、本市に住み続けたいと思える施策を打ち出していくよう併せて要望いたします。

また、第3次総合計画から基本構想として掲げてきた「『世界に輝く静岡』の実現」につきましては、長期的な視点に立った本市の目指す将来像であります。令和5年6月定例会での「4次総については、発展的に継承する」との所信表明を踏まえ、引き続き基本構想として掲げていくよう要望いたしますので、特段のご配慮を賜りたくお願い申し上げます。